『清心語文』投稿要領

旅守事項

i · 枚数上限

に六行分なので、実質一二行分)は余白を残すこと。 ジ分まで掲載可能。ただし、タイトルレイアウトの関係により、 原則として、四○○字詰原稿用紙換算で、三○~四○枚程度(一六○○○字)であるが、一三ペー 六行分 (縦書きの場合、 上下段とも

また、最終頁に改まって、 一、二行で終了する構成はなるべく避ける。

i 注の付け方

- 付加箇所について
- 形式は、(注1)、(注2)・・・に統一する。
- 文字サイズは8ポイントとする。(万一、文字サイズが変えられない場合は、朱筆で指示を入れる。)
- 注を付加する文章の句点直前に入れる。

【例】○ と考えられる。(注1)。

- 表記箇所について
- ・ 注表記の開始は、本文最終行から一行空けて始める。
- 「注」の字は注1の箇所にのみ記す。
- 「注」の字のみゴシック体に変え、算用数字は明朝体のままにしておく。
- 注番号を記した後、一マス空けて注内容を書く。 一行目の空白部分からにする。 また、 二行にわたる場合は、 開始箇所は

「注」の字を	「注」の字のみ
□3□注1に同じ。	注1□山田太郎は・・・・・・ と考えられるのである。 (1行アケル) 2 と考えられるのである。 2 2 3 3 3 4 7

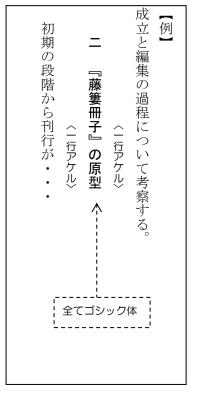
本学卒業生・修了生の場合、卒業・修了年を記す。 iii 末尾に、著者名のひらがな読みと、著者の身分を記す。

例

と考えられる。 (やまだ はなこ/二〇〇〇年度博士前期課程修了)

П. 任意事項 (雑誌としての統一をはかるため、 できるだけ守っていただきたい事項。)

各章ごとにゴシック体で章数字、 及び、 章見出しを付ける。 その際、 前後一行ずつ空ける。



ii. かっこは左記による。

- ① 論文名「
- ② 雑誌名、単行本名『
- ③ 叢書名、全集名にはかっこを付けない。

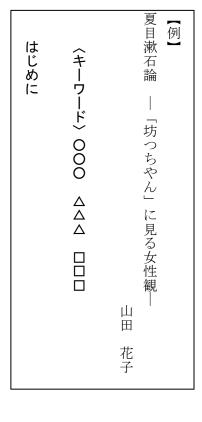
ii. 雑誌、単行本刊行の表記は左記による。

『 雑誌名 』(刊行年月) 〈巻号は適宜〉

1

》 著者名『 単行本名 』(出版社名、刊行年月)

Ŋ. 冒頭に、 論文名、 著者名、 丰 ーワード三語を記す。 ただし、 レイアウトは印刷所が行う。



以上